



鈴木町長から定住奨励金を受け取る新妻さん

町への定住ありがとう 4世帯に奨励金を交付

11月26日、定住奨励金と新婚ライフサポート金の交付式が町長室で行われ、町に1ターンなどで定住した2世帯と新婚2世帯が出席。鈴木重男町長から定住者への奨励金と新婚世帯へのサポート金（くずまき商品券）が贈られました。

鈴木町長は「定住を心から歓迎します。中学生以下の医療費無料化など、葛巻の魅力をもっと町外に情報発信していきたい」とあいさつしました。

小田地区の土地を取得し、新居を構えた新妻浩三さん(60)は7月に横浜市から転入。新妻さんは「土地取得助成などきめ細かい支援に感謝します。横浜在住時と同様に葛巻でも英語教室を開き英語指導に励みます」と意欲満々です。



講演会で熱く語る講師の菊地さん

より強い産地を目指す 酪農セミナーに約60人

町主催の酪農セミナーは11月17日、グリーンテージで開催され、酪農家や関係者約60人が参加し、より強い産地の形成に向けて方策を探りました。

セミナーでは、きくち酪農コンサルティング(株)（北海道士幌町）代表取締役の菊地実さんが講演。菊地さんは「酪農産業で成功するためには優れた経営と、経営者の戦略的計画が必要。経営の基本は牛。牛舎環境の改善など牛のために投資しよう」と熱く語りました。

このほか、現在策定中の「新葛巻型酪農構想」について町担当者が説明。懇親会では、講師の菊地さんも参加し、活発な情報交換が行われました。

消防クラブが夜間巡回 火の用心を呼び掛ける

小田少年消防クラブ（松下智哉会長、クラブ員9人）は11月10日、秋季火災予防運動週間に合わせて夜間防火パトロールを行い、地域住民に火災予防を呼び掛けました。

パトロールにはクラブ員7人のほか、保育園児や第6分団員など合わせて約20人が参加。約30分かけて地区内を歩き、拍子木を打ち鳴らしながら大きな声で元気よく「火の用心！マッチ一本火事の元！」と呼び掛けました。

田澤寿珠さん（葛巻小4年）は「寒かったけどみんなで頑張った。これからも火災が起きないように呼びかけていきたい」と充実した表情を見せました。このような啓発活動などにより、小田地区では6年間無火災が続いています。



そろいのはんてんを着用し、拍子木を鳴らしながら火災予防を呼び掛ける小田少年消防クラブ員ら

味わい楽しみ飲み比べ きき酒ききワイン大会

第21回グリーンテージ杯きき酒&ききワイン大会は11月13日、同会場で行われ、職場や地域、同級生など5人一組、24チームがスタッドレスタイヤや90灯油券などの豪華賞品を目指して真剣勝負をしました。

この大会は、日本酒とくずまきワイン、それぞれ5種類を5分間で当てるのがルール。くずまきワインは、レアリティ、クラシック、山ぶどうワイン、紫雲、SHIZUKUの5種類が出され、参加者は色や香り、舌触りなどを何度も確認しながら、自慢の舌を競いました。

【結果】1位＝ぶ厚いステーキたべ隊(26点)、2位＝星野塾年隊(25点)、3位＝飲んだらるのな飲むなら牛乳(24点)



真剣な表情でワインの味や香りを比べる参加者

除雪の安全願い出動式 園児ら参加し乗車体験

町の除雪機械出動式は11月14日、田子地区に新しく完成した除雪機械格納庫前で、運転手ら約20人が出席しました。

鈴木重男町長が「除雪は住民生活にとって極めて大事な作業。安全に十分留意して作業に臨んでほしい」と訓示。鈴木町長から運転手へ鍵が引き渡され、エンジン始動点検などを行い、除雪機械に異常がないことを確認しました。

町内の園児ら約100人も訪れ、「風邪をひかないで頑張ってくださいね」などと手書きしたカードを運転手に贈りました。乗車体験も行われ、小屋瀬保育園の釜石絢星ちゃん(4)は「大きくて格好良かった」と満面の笑みを見せました。



除雪機械の運転席やバケットに乗り、乗車体験を楽しむ園児ら



遠藤組合長に合わせて拝礼し、収穫への感謝と来年の豊作を願った神事

収穫の喜び分かち合う 星野農家組合が感謝祭

星野農家組合（遠藤芳勝組合長、組合員90人）の収穫感謝祭は11月23日、星野生活改善センターで行われ、組合員や老人クラブの会員など約30人が参加しました。

開会に先立ち神事が行われ、参加者は遠藤組合長に合わせて拝礼し、今年の収穫に感謝するとともに、来年の豊作を願いました。遠藤組合長は「今年は雨不足の時期もあったが、例年どおりの生産量となりました。今後もみんなで団結して頑張っていきましょう」とあいさつ。

感謝祭では、同組合が地区内の遊休農地7㌦で収穫したそばかけなどが振る舞われ、参加者は今年の一年の労苦をねぎらい合いました。